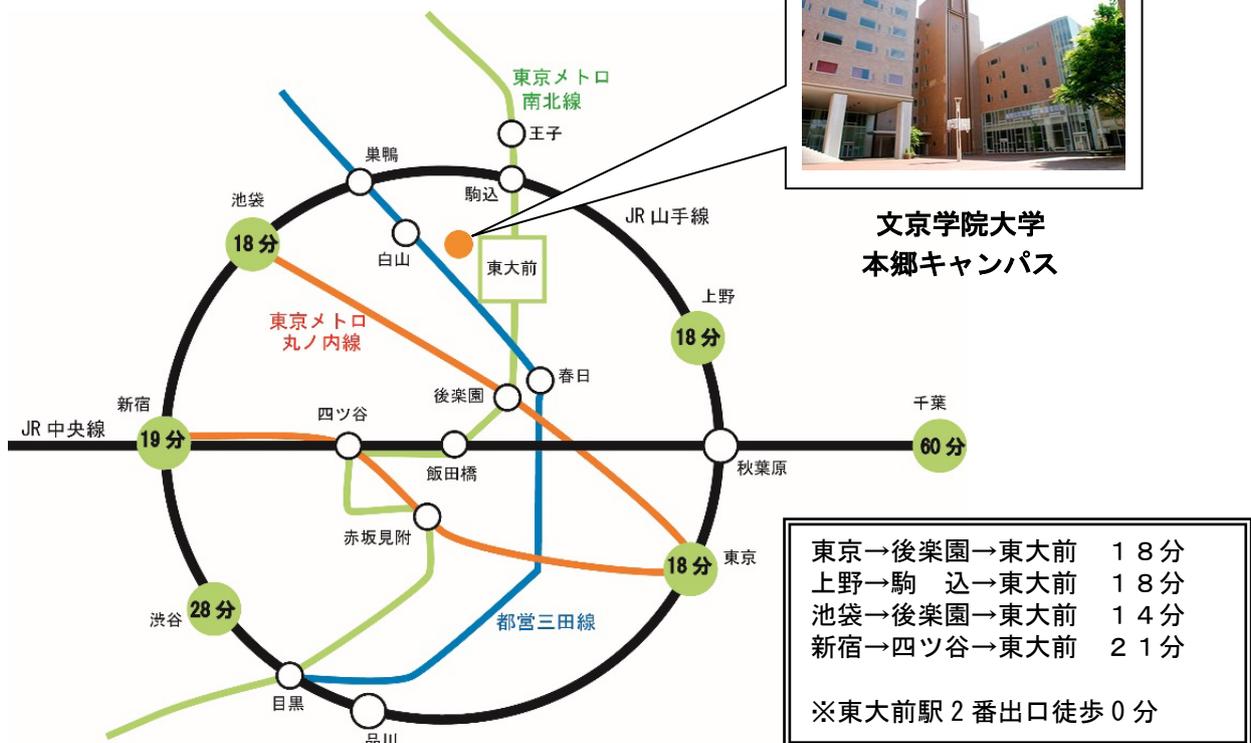


令和6年度

第37回におい・かおり環境学会

- 会 期 令和6年 8 月 29 日(木)～30 日(金)
- 会 場 文京学院大学 本郷キャンパス (東京都文京区向丘 1-19-1)
一般口頭発表：仁愛ホール
ポスター発表：仁愛ホール ホワイエ
機器企画展示：仁愛ホール ホワイエ
- 参加費 講演者、会員(法人・個人)、臭気判定士、日本アロマ環境協会会員：9,000 円
学 生：5,000 円
一 般：14,000 円 (講演要旨を含む)
- 後 援 環境省
- 協 賛 公益社団法人空気調和・衛生工学会、一般社団法人室内環境学会、
一般社団法人繊維学会、一般社団法人日本環境測定分析協会、
日本味と匂学会、日本感性工学会、一般社団法人日本官能評価学会、
公益社団法人日本空気清浄協会、一般社団法人日本建築学会、
公益社団法人日本騒音制御工学会、公益社団法人日本畜産学会、
公益社団法人日本水環境学会、一般社団法人廃棄物資源循環学会 (五十音順)
- 懇親会 文京学院大学 B's Dining
学生以外 8,000 円 学生 5,000 円

アクセスマップ



令和6年8月29日(木)

9:40~17:50

【開会および環境省講演】

9:40~10:15

司会：洞田浩文((公社)におい・かおり環境協会)

- 1 開会挨拶 公益社団法人におい・かおり環境協会 会長 小峯裕己
- 2 歓迎挨拶 文京学院大学
- 3 来賓挨拶・講演「水・大気環境行政の動向」
環境省水・大気環境局 環境管理課環境汚染対策室 増田大美 氏

準備 5分

【一般口頭発表】 分析・測定

10:20~11:55

座長：寺島弘之(ジーエルサイエンス(株))

- 4 におい嗅ぎ GC-TOFMS を用いたノンターゲット分析による化粧品中における異臭原因の探索
○樺島文恵, 櫻井昌文, エストレヤレイジェル(LECO ジャパン(同))
- 5 GC-TOFMS 及び機械学習を用いた構造解析手法の開発と木材中香氣成分分析への適用
○窪田梓, 久保歩, 福留隆夫, 生方正章(日本電子(株))
- 6 有機物等の固形物を対象とした簡易な臭気成分測定法
○安田肇(産業技術総合研究所)
- 7 異なる資材を添加した農地土壌から放散されるにおい物質の変化
○古賀千尋¹, 池永誠², 上野大介¹(¹佐賀大学大学院, ²鹿児島大学大学院)
- 8 牛用飼料発酵 TMR の品質評価に向けたにおい物質の特定および超小型ガスクロによる簡易判別の基礎的検討
○松崎佑哉¹, 服部育男², 赤尾慎吾³, 上野大介¹(¹佐賀大学大学院, ²東海大学, ³ボールウェーブ(株))
- 9 カンキツ新品種「佐賀果試 35 号」の長期貯蔵中におけるにおいと香氣成分を利用した非破壊品質評価法の開発
○中島愛, 古藤田信博, 上野大介(佐賀大学大学院)

昼休憩 60分

12:00~13:00

- 10 機器展示企画展示及び紹介

【一般口頭発表】 室内・体臭の測定評価

13:00~14:00

座長：井上悠一郎((株)長谷工コーポレーション)

- 11 噴流誘引を用いた上方吸込型フードの性能改善
○村上栄造, 河野仁志((株)朝日工業社)
- 12 精油を用いた空間噴霧による感染症抑制効果の評価
○青木貴均, 中村孝道(安藤ハザマ)
- 13 室内干し衣類の悪臭成分の分析とその抑制方法
○石田佳樹¹, 高島伸晃¹, 二木麻衣¹, 林千鶴¹, Gaurav Saini¹, Kejing Du¹, 小林剛², Shreedhar Iyer²,
Shafiq Muhammad Bin Roslan², Raphael Kang², 菅原俊二²
(¹プロクター・アンド・ギャンブル, ²高砂香料工業(株))
- 14 体臭に対する嗅覚の順応回復過程における嗅覚順応モデルの適用性
○山中俊夫¹, 崔ナレ², 山澤春菜¹, 竹村明久³, 小林知広¹, 福本柗一郎⁴, 川口由莉¹
(¹大阪大学, ²東洋大学, ³摂南大学, ⁴(株)三菱地所設計)

準備 10分

【一般口頭発表】 かおりの評価

14:10~14:55

座長：長谷博子(花と香りの研究所)

- 15 認知機能における香り提示による脳活動比較
○塚田晃成, 篠原菊紀(公立諏訪東京理科大学大学院)
- 16 オレンジスイート精油の短時間香料提示による自律神経反応への影響
○古賀愛実, 橋本悠希(筑波大学)
- 17 香りの感性の階層性に基づく個人の類型化：空間芳香の好ましさに基づく検討
○山口乃永¹, 都賀美有紀¹, 長田典子¹, 綿村豪², 三瓶和也², 寺本圭吾³
(¹関西学院大学, ²(株)ノルコーポレーション, ³(株)アスカクリエート)

準備 10分

特別講演

15:05~15:50

司会：小林剛史(文京学院大学)

- 18 デジタル嗅覚技術の展開
中本高道 氏(東京工業大学 科学技術創成研究院)

準備 10分

学術賞講演

16:00~16:25

司会：洞田浩文（(公社)におい・かおり環境協会）

19 香料の徐放に関する研究

森長久豊 氏（山梨大学大学院）

準備 5分

【ポスター発表①】

16:30~17:50

座長：藤岡薫(福岡女子大学)

20 1分間の口頭発表

21 口頭発表終了後ポスター会場に移動

16:30~16:45 口頭説明**16:50~17:50 ポスターセッション**

P1 ニオイセンサを用いたマスクメロンの熟成モニタリング

○越水重臣¹⁾, 小黒諒¹⁾, 鈴木健志²⁾ (1)東京都立産業技術大学院大学, (2)I-PEX(株))

P2 ベトナム・ハノイ市内における臭気環境の現状に関する調査

○加藤祐一朗¹⁾, 中村友香¹⁾, 森孝之¹⁾, 榎本長蔵¹⁾, 桑原岳人¹⁾²⁾, Tran Ton Quyen²⁾
(1) (株)環境管理センター, (2)KANKYO ENVIRONMENT SOLUTIONS CO., LTD)

P3 バイオマス燃料 (PKS) の臭気低減策に関する実験的検討

○樋口隆哉, 阿部宗一郎(山口大学大学)

P4 睡眠の質が影響を及ぼすヒト皮膚ガス成分について

○興野朝未¹⁾, 武井涼¹⁾, 村瀬正剛¹⁾, 藤岡裕真²⁾, 関根嘉香²⁾ (1) (株)コーセー, (2)東海大学)

P5 精油の香りに対する印象評価に関する研究 第1報 精油の分類に関する検討

○近江陽向¹⁾, 光田恵²⁾, 岩井幸一郎³⁾, 早川和美³⁾, 幸田勝典³⁾ (1)大同大学大学院, (2)大同大学, (3) (株)豊田中央研究所)

P6 精油の香りに対する印象評価に関する研究 第2報 「集中できる」に関与する表現に関する検討

○岩井幸一郎¹⁾, 近江陽向²⁾, 光田恵³⁾, 早川和美¹⁾, 幸田勝典¹⁾ (1) (株)豊田中央研究所, (2)大同大学大学院, (3)大同大学)

P7 におい物質による色彩変化を示すナフタレンテトラカルボン酸ジイミド誘導体のフィルターへの担持と性能評価

○山下怜子((地独)大阪産業技術研究所)

P8 高感度 GC-TOFMS によるペット臭の網羅的分析と解析

○Reygel Estrella, 樺島文恵, 櫻井昌文(LECO ジャパン(同))

P9 体臭とリノリウムの発生臭気に対する嗅覚順応特性

○川口由莉¹⁾, 山中俊夫¹⁾, 崔ナレ²⁾, 山澤春菜¹⁾, 竹村明久³⁾, 小林知広¹⁾, 福本柊一郎⁴⁾
(1)大阪大学, (2)東洋大学, (3)摂南大学, (4) (株)三菱地所設計)

P10 堆肥化施設における攪拌中に発生する高濃度アンモニアガスの除去に関する研究

○金漢來, 黄昇奕(韓国(株)アクアテック)

P11 ワイン用葡萄残渣抽出物を用いた消臭剤の開発

○坂井比奈子(地独)大阪産業技術研究所)

P12 心拍センサと簡易脳波計を用いた精油の香りの可視化

○熊谷愛美, 小森祥央, 奥出真理子(茨城工業高等専門学校)

P13 高弾性ゴムボール玩具の臭気成分

○遠藤普克, 松永崇利(塩野香料(株))

【懇親会】

18:00~19:30

22 B's Dining に移動して懇親会

※一般口頭発表は、1セッション毎に表示している時間の枠内で講演を行います。質疑の時間は座長判断により調整する場合があります、講演開始時間が流動的になります。予めお早めにお集まりいただけるようお願いします。

【一般口頭発表】 官能評価①

9:30~10:30

座長：森孝之((株)環境管理センター)

23 臭気指数の算定手順の比較—分布特性の視点から—

○藤岡薫¹⁾, 柳橋泰生²⁾(¹⁾福岡女子大学, ²⁾福岡大学)

24 模擬尿臭の作成—新たな消臭性試験法への展開を目指して—

○佐々木直里, 亀崎悠((地独)東京都立産業技術研究センター)

25 VAS法に近づけた6段階臭気強度表示法の利用可能性

○伏田幸平¹⁾, 小林剛史²⁾(¹⁾産業技術総合研究所, ²⁾文京学院大学)

26 嗅覚に関する主観的能力の日韓比較：OAS、VOIQを用いた検討

○山本晃輔¹⁾, 崔誠姫²⁾, 中島爽子³⁾(¹⁾法政大学, ²⁾大阪産業大学, ³⁾ANA 関西空港(株))

準備 10分

【ポスター発表②】

10:40~12:00

座長：水野良典((株)朝日工業社)

27 1分間の口頭発表

28 口頭発表終了後ポスター会場に移動

10:40~10:55 口頭説明**11:00~12:00 ポスターセッション**

P14 オープンサイエンス時代におけるおい分子情報の集積と提供

○吉井文子(におい&アロマ分子研究所)

P15 アトピー性皮膚炎の細胞モデルにおける混合精油のシナジー効果

○山井采美花¹⁾, 藤田歩¹⁾, 小林昂平¹⁾, 根建美也子²⁾, 安藤直子¹⁾(¹⁾東洋大学大学院, ²⁾共立女子大学)

P16 ニオイセンサを用いた焼酎用官能評価試薬のニオイ可視化

○丸山慶子¹⁾, 竹村明久²⁾, 相澤真悟¹⁾, 前野権一¹⁾, 橋詰賢一¹⁾(¹⁾(株)アロマビット, ²⁾摂南大学)

P17 新型コロナウイルス感染拡大時の悪臭の苦情件数の増加の要因

○藤倉まなみ(桜美林大学)

P18 気相刺激法によるネコ尿応答 OR とアンタゴニスト香料の探索

○金牧怜奈¹⁾²⁾, 岸上佳保理¹⁾, 川崎礼央¹⁾, 福谷洋介²⁾(¹⁾エステー(株), ²⁾東京農工大学大学院)

P19 においアレイセンサの性能限界に対する一考察

○喜多純一((株)におい科学研究所)

P20 樹木の香りによる主観・生理的影響-複数樹種の比較(その2)

○松原恵理¹⁾, 松井直之¹⁾, 深津恵²⁾, 千葉正貴³⁾(¹⁾森林総合研究所, ²⁾A Green(株), ³⁾アットアロマ(株))

P21 現代日本のスメルスケープ—まちのにおいの嗜好に関する探索的調査—

○請野菜緒子, 小林剛史(文京学院大学)

P22 VOC除去効率リアルタイム分析のためのモニタリングプログラム開発

○柳炳鏞¹⁾, 楊宗澈¹⁾, 兪美善²⁾, 丁斗燮³⁾(¹⁾(株)メガーイエンシ, ²⁾韓国蔚山大学, ³⁾(株)TEC)

P23 トルエンガス代謝微生物の体外分泌特性がトルエンガス除去能力に与える影響 ~液膜内での分泌物の分布特性~

○松田健志, 樋口能士(立命館大学)

P24 ダマスクローズ精油を吸引した際に起こる、成人男性を対象とした心理的变化の観察実験

○今井通子(ローズリンク(株))

昼休憩 60分

12:00~13:00

29 機器展示企画展示及び紹介

【一般口頭発表】 官能評価②

13:00~14:00

座長：石田賢哉(高砂香料工業(株))

30 オMISSION法を用いた工場職場環境のにおい原因調査

○小坂麻人¹⁾, 福田秀和¹⁾, 田中勝¹⁾, 坂本雅子¹⁾, 堀江桃子¹⁾, 喜多純一²⁾ (¹⁾ダイキン工業(株), ²⁾(株)におい科学研究所)

31 大型バスにおける車室内の臭気と空気質の評価手法検討

○内山一寿¹⁾, 城井啓吾²⁾, 菅勝博³⁾, 木津拓磨³⁾, 唐木恭将³⁾, 松井秀親¹⁾, 丹羽啓誌¹⁾, 星野邦広⁴⁾, 井上悠一郎⁵⁾, 山下怜子⁶⁾, 坂井比奈子⁶⁾, 道志智⁶⁾, 橋本一浩⁷⁾, 達晃一³⁾

(¹⁾東海技術センター, (²⁾ジェイ・バス(株), (³⁾いすゞ自動車(株), (⁴⁾(株)ENVサイエンストレーディング, (⁵⁾(株)長谷工コーポレーション, (⁶⁾大阪産業技術研究所, (⁷⁾(株)エフシージー総合研究所)

32 哺乳類嗅覚受容体のニオイ応答を指標とした悪臭抑制法の開発

○福谷洋介¹⁾, 齋藤芽生¹⁾, 斉藤遥¹⁾, 田澤寿明²⁾ (¹⁾東京農工大学, ²⁾エステー(株))

33 香りから受ける気分及び情報提示の影響

○長谷博子¹⁾, 平林由果²⁾ (¹⁾花と香りの研究所, ²⁾金城学院大学)

準備 10分

企画セッション

14:10~15:45

『におい・かおりの多様性 ~体臭などの悩みについて考える~』

座長：小林剛史(文京学院大学)

34 趣旨説明

小林剛史 氏 (文京学院大学)

35 においに悩むとは

中道亜希子 氏 (におい悩みカフェ)

36 においに対する主観的嗅覚認知能力 -視聴覚・自己と環境・パーソナリティとの関係性から-

山本晃輔 氏 (法政大学 理工学部創生科学科)

37 体臭多様性とともな体臭ケアを伝える教室

森一郎 氏 (花王(株) 感覚科学研究所)

準備 10分

38 指定討論・ディスカッション

※講演者の順番については入れ替わる可能性がありますのでご了承ください

【閉会 表彰式】

15:45~16:00

39 ベストプレゼンテーション賞(口頭発表部門、ポスター発表部門)の表彰式

閉会挨拶 学会委員長 小林剛史(文京学院大学)

※ポスター発表の方は、1分間の口頭説明前までにパネルへ掲示を行ってください。
ディスカッションが終了したら速やかにポスターの撤去をお願いします。
掲示されているポスターについて、“撮影禁止”のマークがあるものについては
写真撮影を禁止しています。
ご協力の程よろしく申し上げます。

【Oral presentation】

10:20~11:55

Analysis and Measurement

- 4 Investigation of unpleasant odors in Cosmetics by Non-target screening with GC-TOFMS/Olfactometry (GC-MS/O) and GCxGC-TOFMS
*Fumie KABASHIMA, Masafumie SAKURAI and Reygel Estrella (LECO Japan Corporation)
- 5 Development of structural analysis method using GC-TOFMS and machine learning and its application to analysis of aroma components in dried wood
*Azusa KUBOTA, Takao FUKUDOME, Ayumi KUBO and Masaaki UBUKATA (JEOL Ltd.)
- 6 A simple method to measure odor component for solid materials such as organic matter
*Hajime YASUDA (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))
- 7 Changes in odorant substances emitted from agricultural soil with the addition of different soil materials
*Chihiro KOGA¹, Makoto IKENAGA¹ and Daisuke UENO² (¹Saga University, ²Kagoshima University)
- 8 Identification of odor compounds from Wagyu cattle feed for quality assessment and efficient analysis by ultra-compact portable gas chromatography
*Yuya MATSUZAKI¹, Ikuo HATTORI² and Daisuke UENO² (¹Saga University, ²Tokai University)
- 9 Development of a non-destructive quality evaluation method using aroma compounds during long-term storage
*Mana NAKASHIMA, Nobuhiro KOTODA and Daisuke UENO (Graduate School of Agriculture, Saga University)

【Oral presentation】

13:00~14:00

Measurement and evaluation of indoor and body odor

- 11 Performance improvement of upward-suction type hoods using jet stream induction
*Eizo MURAKAMI, Hitoshi KOHNO (ASAHI KOGYOSHA CO., LTD)
- 12 Evaluation of the effect of space spraying with essential oils on the control of infectious diseases
*Takahiro AOKI, Takamichi NAKAMURA (Hazama Ando Corporation)
- 13 Analysis of indoor drying laundry malodor and their prevention
*Yoshiki ISHIDA¹, Nobuaki TAKASHIMA¹, Mai Niki¹, Chizuru HAYASHI¹, Gaurav Saini¹, Kejing Du¹, Tsuyoshi KOBAYASHI², Shreedhar Iyer², Shafiq Muhammad Bin Roslan², Raphael Kang² and Shunji SUGAWARA²
(¹Procter & Gamble, ²Takasago International Corporation)
- 14 Applicability of olfactory adaptation model to adaptation and recovery process of body odor
*Toshio YAMANAKA¹, Narae CHOI², Haruna YAMASAWA¹, Akihisa TAKEMURA³, Tomohiro KOBAYASHI¹, Shuichiro FUKUMOTO⁴ and Yuri KAWAGUCHI¹
(¹Osaka University, ²Toyo University, ³Setsunan University, ⁴Mitsubishi Jisho Design Inc.)

【Oral presentation】

14:10~14:55

Evaluation of Fragrance

- 15 Comparison of brain activity by scent presentation in cognitive function
*Akinari TSUKADA (Suwa University of Science)
- 16 Effect of short-term exposure to sweet orange essential oil on autonomic nervous responses
*Manami KOGA and Yuki HASHIMOTO (University of Tsukuba)
- 17 Individual Classification Based on Hierarchy Structure in Kansei of Fragrance: A Study on Ambient Fragrance Preference
*Noe YAMAGUCHI¹, Miyuki TOGA¹, Noriko NAGATA¹, Tsyoshi WATAMURA², Kazuya SANPEI² and Keigo TERAMOTO²
(¹Kwansei Gakuin University, ²NOL CORPORATION CO., LTD., ³ASKA CREATE)

【Special presentation】

15:05~15:50

【Academic Awards presentation】 16:00~16:25

【Poster presentation ①】**16:30~17:50**

- P1 Monitoring the ripening of muskmelons using a smell sensor**
*Shigeomi KOSHIMIZU¹, Ryo OGURO¹ and Takeshi SUZUKI²
(¹Advanced Institute of Industrial Technology, ²I-PEX Inc.)
- P2 Survey of Current Odor Environment in Hanoi, Vietnam**
*Yuichiro KATO¹, Yuka NAKAMURA¹, Takayuki MORI¹, Chozo ENOMOTO¹, Taketo KUWABARA^{1,2} and Tran Ton Quyen²
(¹ENVIRONMENTAL CONTROL CENTER, ²KANKYO ENVIRONMENT SOLUTIONS CO., LTD)
- P3 An experimental study on control measures of odor emission from biomass fuel (PKS)**
*Takaya HIGUCHI and Soichiro ABE
(Graduate School of Sciences and Technology for Innovation, Yamaguchi University)
- P4 Human skin gas components which affect the quality of sleep**
*Asami KYONO¹, Ryo TAKEI¹, Masatake MURASE¹, Yuma FUJIOKA² and Yoshika SEKINE²
(¹KOSE Coporation, ²Tokai University)
- P5 Study on Impression Evaluation of Essential Oil Scents. Part I. Classification of Essential Oils.**
*Hinata OMI¹, Megumi MITSUDA², Koichiro IWAI³, Kazumi HAYAKAWA³ and Katsunori KODA³
(¹Daido University Graduate School, ²Daido University, ³Toyota Central R&D Labs., Inc.)
- P6 Study on impression evaluation of essential oil scents. Part II. Examination of the expressions involved in "can concentrate."**
*Koichiro IWAI¹, Hinata OMI², Megumi MITSUDA³, Kazumi HAYAKAWA¹ and Katsunori KODA¹
(¹Toyota Central R&D Labs., Inc., ²Daido University Graduate School, ³Daido University)
- P7 Loading of Naphthalene Tetracarboxylic Diimide Derivatives Showing Color Changes by Odor Substances on Filters and Their Evaluation**
*Reiko YAMASHITA (Osaka Research Institute of Industrial Science and Technology)
- P8 Non-targeted Screening and Analysis of Pet Odor using highly sensitive GC-TOFMS.**
*Reygel Estrella, Fumie KABASHIMA and Masafumi SAKURAI (LECO Japan)
- P9 Olfactory Adaptation Characteristics to Body Odor and Odor Generated from Linoleum Flooring**
*Yuri KAWAGUCHI¹, Toshio YAMANAKA¹, Narae CHOI², Haruna YAMASAWA¹, Akihisa TAKEMURA³, Tomohiro KOBAYASHI¹ and Shuichiro FUKUMOTO⁴
(¹Osaka University, ²Toyo University, ³Setsunan University, ⁴Mitsubishi Jisho Design Inc.)
- P10 Removal of High Concentration Ammonia Gas Emitted during Mixing in Composting Process**
*Kim Han Lae, Hwang Seung Hyuk (AquaTech. Co. Ltd.)
- P11 Development of deodorant using wine grape residue extracts**
*Hinako SAKAI (Osaka Research Institute of Industrial Science and Technology)
- P12 Visualizasion of Emotion by Essential Oil Scents Using Heart Rate Sensor and Simple Electroencephalograph**
*Manami KUMAGAI, Yoshihiro KOMORI and Mariko OKUDE
(National Institute of Technology (KOSEN), Ibaraki College)
- P13 Odor active compounds of bouncy balls**
*Hirokatsu ENDO and Takatoshi MATSUNAGA (Shiono Koryo Kaisha, LTD.)

【Oral presentation】**9:30~10:30****Sensory evaluation ①**

23 The Comparison of Odor Index Calculation Procedures: From the Perspective of Distribution Properties

*Kaoru FUJIOKA¹ and Yasuo YANAGIBASHI² (¹Fukuoka Women's University, ²Fukuoka University)

24 Preparation of Simulated Urine Odor –Toward a new test method for deodorant–

*Naori SASAKI and Yu KAMEZAKI (Tokyo Metropolitan Industrial Technology Research Institute)

25 Usability of a six-point odor intensity scale adapted to the VAS method.

*Kohei FUSEDA¹ and Takefumi KOBAYASHI²

(¹National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, ²Bunkyo Gakuin University)

26 Comparison of Subjective Olfactory Abilities Between Japan and Korea: An Examination Using OAS and VOIQ

*Kohsuke YAMAMOTO¹, Seonghee CHOI² and Sayako NAKAJIMA³

(¹Hosei University, ²Osaka Sangyo University, ³ANA Kansai Airport Co., LTD)

【Poster presentation ②】**10:40~12:00**

P14 Accumulation and Provision of Odor Molecular Information in the Age of Open Science

*Fumiko YOSHII (Research laboratory for odorants and aroma molecules)

P15 Synergistic effects of mixture of essential oils in a cell culture model of atopic dermatitis

*Amika YAMAI¹, Ayumi FUJITA¹, Kouhei KOBAYASHI¹, Miyako NEDACHI² and Naoko ANDO¹

(¹Department of Applied Chemistry Graduate School of Science and Engineering,

²Department of Food and Nutrition, Faculty of Home Economics, Kyoritsu Women's University)

P16 Visualization of standard reagents for shochu sensory evaluation using odor sensors.

*Keiko MARUYAMA¹, Akihisa TAKEMURA², Shingo AIZAWA¹, Kenichi MAENO¹ and Kenichi HASHIZUME¹

(¹Aroma Bit, Inc., ²Setsunan University)

P17 Factors contributing to the increase in the number of odor complaints during the spread of COVID-19

*Manami FUJIKURA (J.F. Oberlin University)

P18 Search for cat urine response OR and antagonist fragrance using gas phase stimulation method

*Reina KANEMAKI^{1,2}, Kahori KISHIGAMI¹, Reo KAWASAKI¹ and Yosuke FUKUTANI²

(¹S.T. Corporation, ²Tokyo University of Agriculture and Technology Department of Biotechnology and Life Science)

P19 Consideration on the Performance Limits of Odor Array Sensors

*Junichi KITA (Nioi Kagai Lab. LTD)

P20 Subjective and physiological responses to aroma of tree essential oils –a comparison of several tree species: Part2

*Eri MATSUBARA¹, Naoyuki MATSUI¹, Megumi FUKATSU² and Masayoshi CHIBA³

(¹Forestry and Forest Products Research Institute, ²A Green Inc., ³AT-AROMA Co., Ltd.)

P21 Smellscapes of contemporary Japanese people :An exploratory research of smell preferences in towns

*Naoko UKENO and Takefumi KOBAYASHI (Bunkyo Gakuin University)

P22 Developing A Monitoring Program for Real-Time Analysis of Removal Efficiency for Different Types and Concentrations of VOCs

*Ryu Byeong Yong¹, Yang Jong Chul¹, Yu Mee Seon² and Jong Doo-Seob³

(¹MEGA ENC, ²University of Ulsan, ³TEC)

P23 Influence of extracellularly secreted substances by toluene-degrading microorganisms on the capacity of gaseous toluene removal –Distribution of secreted substances in the liquid film –

*Takeshi MATSUDA and Takashi HIGUCHI (College of Science and Engineering, Ritsumeikan University)

P24 Observation experiment of psychological changes that occurs when damask rose essential oil is inhaled for adult men.

*Imai MICHIKO (ROSELINK Co., Ltd)

【Oral presentation】

13:00~14:00

Sensory evaluation ②

30 Investigation of odor sources in factory work environments using the omission method

*Mato KOSAKA¹⁾, Hidekazu FUKUDA¹⁾, Masaru TANAKA¹⁾, Masako SAKAMOTO¹⁾, Momoko HORIE¹⁾ and Junichi KITA²⁾
(¹⁾DAIKIN INDUSTRIES, LTD., ²⁾Nioi Kagaku Lab. LTD.)

31 Study of Evaluation Methods for Odor and Air Quality in Large Buses

*Kazuhisa UCHIYAMA¹⁾, Keigo KII²⁾, Katsuhiko KAN³⁾, Takuma KIZU³⁾, Kyousuke KARAKI³⁾, Hidechika MATSUI¹⁾, Hiroshi NIWA¹⁾, Kunihiro HOSHINO⁴⁾, Syuichirou INOUE⁵⁾, Reiko YAMASHITA⁶⁾, Hinako SAKAI⁶⁾, Satoshi DOSHI⁶⁾, Kazuhiro HASHIMOTO⁷⁾ and Koichi TATSU³⁾

(¹⁾Tokai Technology Center, ²⁾J-BUS Ltd., ³⁾Isuzu Motors Limited, ⁴⁾ENV Sciences Trading Co., Ltd.,

⁵⁾HASEKO Corporation, ⁶⁾Osaka Research Institute of Industrial Science and Technology,

⁷⁾FCG Research Institute, Inc.)

32 Development of a Malodor Suppression Method Based on Odor Responses of Human Olfactory Receptors

*Yosuk FUKUTANI¹⁾, Mei SAITO¹⁾, Haruka SAITO¹⁾ and Toshiaki TAZAWA²⁾

(¹⁾Tokyo University of Agriculture and Technology, ²⁾S.T. Corporation)

33 Effects of Information Presentation on Mood Received from Fragrance

*Hiroko HASE¹⁾ and Yuka HIRABAYASHI²⁾ (¹⁾Fragrancearoma Lab, ²⁾Kinjo Gakuin University)

【Planning Sessions】

14:10~15:45